



Cisco Vision Director でのスイッチデータの管理

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [スイッチデータのインポートに関する情報\(215 ページ\)](#)
- [Cisco Vision Director へのスイッチデータのインポート方法\(215 ページ\)](#)
- [スイッチの詳細の表示\(219 ページ\)](#)

スイッチデータのインポートに関する情報

スイッチデータを Cisco Vision Director にインポートすると、各自のメディアプレーヤーのデバイスに関する特定スイッチ関連の情報を取得でき、また PoE を使用したメディアプレーヤーの電力リセットなどの特定コマンドをスイッチから実行できて便利です。

スイッチデータのインポート後、スイッチの情報とメディアプレーヤーとの接続については、管理ダッシュボードの次の領域で確認できます。

- [\[Monitor and Status\] > \[All Devices\] > \[Settings\]](#)
- [\[ツール\(Tools\)\] > \[設定\(Settings\)\] > \[スイッチの管理\(Switch Management\)\] > \[スイッチ詳細の表示\(View Switch Details\)\]](#)

Cisco Vision Director へのスイッチデータのインポート方法

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [スイッチデータのインポートに関するガイドライン\(216 ページ\)](#)
- [スイッチデータのインポートの前提条件\(216 ページ\)](#)
- [グローバルスイッチデバイスのデフォルト設定の構成\(216 ページ\)](#)
- [スイッチデータのインポート\(218 ページ\)](#)
- [スイッチデータの再インポート\(218 ページ\)](#)

スイッチ データのインポートに関するガイドライン

スイッチ データを Cisco Vision Director にインポートする前に、次のガイドラインを考慮してください。

- **[Default Switch]** パラメータには、Cisco Vision Director にデータをインポートするすべてのスイッチの接続タイプと共通のクレデンシアルを設定します。これにより、複数のスイッチからデータをインポートする場合に時間を節約できます。
- 次のパラメータは、グローバル デフォルトに設定することで、データをインポートするすべての Cisco Connected Stadium スイッチに接続させるようにできます。
 - トランSPORT (Transport)
 - ユーザ名 (User name)
 - [パスワード (Password)]
 - Enable password
- スイッチにインポートする際には、スイッチ固有のトランSPORT プロトコルまたはユーザ クレデンシアルで、グローバル デフォルトを上書きできます。

ただし、**[Import Switch]** ダイアログボックスで指定可能なスイッチ固有の設定が使用されるのは、グローバル デフォルト設定で **[Switch settings can override defaults]** オプションを **[yes]** としてある場合だけです。
- スイッチ設定に何らかの変更を行った場合は、スイッチ データを再インポートして、ポート接続その他の最新情報を反映させる必要があります。

スイッチ データのインポートの前提条件

Cisco Vision Director スイッチにデータをインポートする前に、次の条件が満たされていることを確認します。

- Cisco Vision Director で使用する Cisco Connected Stadium スイッチのインストールと設定が完了しています。
- メディア プレーヤーの展開とスイッチとの接続が完了しています。
- スイッチ接続に関する次の情報が必要です。
 - トランSPORT タイプ (SSH を推奨)
 - ユーザ名 (User name)
 - [パスワード (Password)]
 - Enable password
 - スイッチの IP アドレス

グローバル スイッチ デバイスのデフォルト設定の構成

ユーザ ロール: 管理者 (Administrator)

このタスクでは、Cisco Vision Director にデータをインポートするすべてのスイッチの接続タイプと共通のクレデンシアルを設定します。これにより、複数のスイッチからデータをインポートする場合に時間を節約できます。

グローバル スイッチ デバイスのデフォルト設定を行うには、次の手順を実行します。

1. **[Tools] > [Management Dashboard] > [Dynamic Signage Director Configuration] > [System Configuration] > [Management Dashboard] > [Power over Ethernet] > [Default Switch]** のパラメータに移動します。

図 1 (217 ページ) に、Cisco Vision Director にインポートするすべてのスイッチ データについて、デフォルトとして指定可能な設定プロパティを示します。

図 1 デフォルトのスイッチ パラメータのプロパティ



2. デフォルトのスイッチ設定のプロパティで、すべてのスイッチのインポートでデフォルト値とする設定を、表 1 (217 ページ)に従って入力します。

表 1 デフォルトのスイッチ設定プロパティの説明

プロパティ	説明
[Switch settings can override defaults?]	<p>[no]: デフォルトのスイッチ設定に指定されているプロパティ値を、インポートスイッチの設定に指定されている、トランスポート、ユーザ名、パスワード値で上書きできないように指定します。</p> <p>[yes]: トランスポート、ユーザ名、パスワードのデフォルト設定を、インポート時に、インポートスイッチの設定値で上書きできるように指定します。</p>
[Default Transport]	<p>スイッチのデフォルトの接続タイプとして Telnet または SSH を指定します。セキュリティを最適にするには、SSH を使用する必要があります。</p> <p>インポートスイッチ設定で上書きオプションを [Yes] に設定すると、この値は上書き可能になります。</p>
[User Name]	<p>スイッチのデフォルトのユーザ名です。</p> <p>インポートスイッチ設定で上書きオプションを [Yes] に設定すると、この値は上書き可能になります。</p>
[Password]	<p>スイッチのユーザ名に関するデフォルトのパスワードです。</p> <p>インポートスイッチ設定で上書きオプションを [Yes] に設定すると、この値は上書き可能になります。</p>
[Enable password]	<p>スイッチのデフォルトでのイネーブルパスワードです。</p> <p>インポートスイッチ設定で上書きオプションを [Yes] に設定すると、この値は上書き可能になります。</p>

スイッチ データのインポート

ユーザ ロール: 管理者 (Administrator)

このタスクでは、Cisco Connected Stadium スイッチ データをインポートして、管理ダッシュボードで各自のメディア プレーヤーのデバイスを管理する方法について説明します。

重要: スイッチ設定に何らかの変更を行った場合は、スイッチ データを再インポートして、ポート接続その他の最新情報を反映させる必要があります。

スイッチのデータをインポートするには。

1. [Tools] > [Management Dashboard] > [Tools] ドロワ > [Settings] タブ > [Switch Management] > [Import Switch] に移動します。図 2(218 ページ)に、インポート スイッチのオプションを示しています。

図 2 インポート スイッチ

2. インポートするスイッチの IP アドレスを指定します。
3. (任意) スイッチの説明を入力します。
4. (任意) デフォルトのスイッチ設定の上書きが有効にされている場合に、スイッチ固有の接続パラメータを指定します。
5. [インポート スイッチ (Import Switch)] アイコンをクリックします。

スイッチ データの再インポート

ユーザ ロール: 管理者 (Administrator)

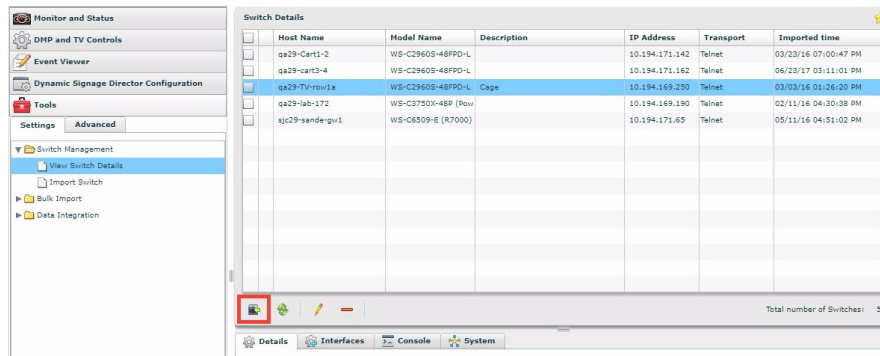
このタスクでは、最初のインポートをすでに実行した後で、メディア プレーヤーの追加や移動などのスイッチ設定に変更を加えている Cisco Vision Director の Cisco Connected Stadium のスイッチ データを更新する方法について説明します。

スイッチ データを再インポートするには、次の手順を実行します。

1. [Tools] > [Management Dashboard] > [Tools] ドロワ > [Settings] タブ > [Switch Management] > [View Switch Details] に移動します。
2. [スイッチの詳細 (Switch Details)] ボックスで、更新するスイッチを選択します。
3. 再インポート アイコンをクリックします(図 3(219 ページ))。

スイッチの詳細の表示

図 3 【スイッチ詳細の表示 (View Switch Details)】からのスイッチデータの再インポート



スイッチの詳細の表示

ユーザ ロール: 管理者 (Administrator)

スイッチの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. [Tools] > [Management Dashboard] > [Tools] ドロワ > [Settings] タブ > [Switch Management] > [View Switch Details] に移動します。

図 4(219 ページ)に、スイッチの基本情報を確認するための、デフォルトのスイッチ詳細ビューを示します。

図 4 スwitchの詳細の表示



2. スイッチでのメディア プレーヤー デバイスの接続情報を取得するには、**インターフェイス**をクリックします。

図 5(220 ページ)に、スイッチに接続されたメディア プレーヤーの情報として、アドレッシング、VLAN、POE などの値を示します。

スイッチの詳細の表示

図 5 【スイッチの詳細(Switch Details)】-[インターフェイス(Interface)] ビュー

The screenshot displays the Cisco Vision Director interface. On the left is a navigation pane with sections like 'Monitor and Status', 'Event Viewer', and 'Switch Management'. The main area is split into two views: 'Switch Details' and 'Interface'.

Switch Details Table:

Host Name	Model Name	Description	IP Address	Transport	Imported time
qa29-cart1-2	WS-C2960S-48PPD-L		10.194.171.142	Telnet	03/23/16 07:00:47 PM
qa29-cart3-4	WS-C2960S-48PPD-L		10.194.171.162	Telnet	06/23/17 03:11:01 PM
qa29-Tvrow1a	WS-C2960S-48PPD-L	Cape	10.194.169.250	Telnet	03/03/16 01:26:20 PM
qa29-lab-172	WS-C3750X-48P (Pow)		10.194.169.190	Telnet	02/11/16 04:30:38 PM
sjc29-sande-gw1	WS-C6509-E (R7000)		10.194.171.65	Telnet	05/11/16 04:51:02 PM

Total number of Switches: 5

Interface Table:

Interface	IP Address	MAC	Vlan	Admin	Oper	Power	Connected DMP	Device Type
Gi1/0/36		00:22:bd:d3:5b:8a	225	auto	on	15.4		CIVS-IPC-4500
Gi1/0/18				auto	off	0.0		n/a
Gi1/0/2				auto	off	0.0		n/a
Gi1/0/37		00:22:bd:d3:5b:97	225	auto	on	15.4		CIVS-IPC-4500
Gi1/0/19				auto	off	0.0		n/a
Gi1/0/1				auto	off	0.0		n/a
Gi1/0/34				auto	on	13.0		CIVS-IPC-4500
Gi1/0/16				auto	off	0.0		n/a
Gi1/0/35				auto	on	15.4		CIVS-IPC-4500
Gi1/0/17				auto	off	0.0		n/a